



おおくす



笑顔が学校にあふれていました。 ～2学期のスタート～

いよいよ2学期が始まりました。学級活動の時間や始業式で、子どもたちの元気な姿を見ることができ、とても嬉しかったです。ご家庭や地域で楽しい体験、貴重な体験をたくさんさせてもらい、子どもたちは、また一回り成長したように感じました。

さて、2学期は、たくさんの方の行事や外部講師を招いての出前授業が計画されています。これらの学びを通して、「やり抜く力」・「自制心」・「自己肯定感」・「社会性」といった非認知能力も身に付けていってほしいと思います。

今年の暑さは尋常でなく、まだまだ最高気温30℃を超えるような厳しい残暑が続きます。子どもたちには、熱中症に十分に気を付けながら、少しずつ学校生活に慣れていってほしいと思います。

2学期もまた、保護者の皆様、地域の皆様に、たくさんお世話になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

集中豪雨や台風などによる水害に備えて ～洪水避難訓練～



9月1日(月)、始業式に続いて、洪水避難訓練を実施しました。鈴鹿川の河川堤防から雨水があふれ、市内に洪水警報が発令されたという想定で、校舎の1階と2階で学んでいる子どもたちが、3階に避難しました。

子どもたちは、避難を指示する教頭先生からの放送をしっかりと聞いた後、1～4年生が、担任の先生の誘導で、落ち着いて、3階の空き教室へと避難することができました。階段を上るタイプの訓練は初めてなので、つまずいてけがをする子がいないか心配していましたが、全員がしっかりと足元を確認しながら、安全に階段を上ることができていました。また、5～6年生はそのまま自分の教室で待機する形になりましたが、決して騒がず、静かに次の指示を待つことができました。

近年、日本の様々な地域で、集中豪雨や線状降水帯が発生し、「これまでに体験したことがない雨量」という言葉をよく耳にするようになりました。また、テレビのニュースでも、大雨によって川が氾濫し、濁流が町を飲み込んでいく様子が、毎年のように放送されるようになりました。私たちの住む地域も、海や河川に近いため、洪水が起こる危険性は十分に考えられます。かつて伊勢湾台風によって甚大な被害を被った教訓を忘れずに、学校でも指導をしていきたいと思ひます。

ご家庭でも、洪水警報が発出されたときや、実際に洪水が起きたときには、どんな危険があるか、その危険を回避するためにどんな行動をとればよいか、この機会に子どもたちと話し合っただけけるとありがたいです。



